福祉こいと　第14号
編集・発行　小糸地区社会福祉協議会　平成31年3月31日

平成31年春を迎えて

小糸地区社会福祉協議会
会長　四塚　辰明

平成最後の年明けを迎えました。皆様は良い年をお迎えになられましたか。

小糸地区の皆様には地域福祉活動にご理解いただき、日々ご尽力されておられます事、また君津市社会福祉協議会賛助会員に賛同いただきお礼申し上げます。

昨年は盛大に敬老会を開催することができました。卒寿を迎えられた方は君津市では、339名おり、小糸地区は男性14名・女性32名の46名の方が迎えられました。平成29年度は35名で毎年増加しており皆様の健康に対する思いの結果だと思います。これからも健康寿命を延ばす活動を元気よく行ってください。

本年1月31日に第47回君津市社会福祉大会が開催され、第68回「社会を明るくする運動」千葉県作文コンテストにおいて小糸小学校６年生の高橋来芽さんが佳作を受賞されました。また君津市平成30年度福祉の標語コンクールで小糸小学校２名、中小学校３名、小糸中学校４名の方が優秀賞を受賞されました。改めてお祝い申し上げます。今回の作文・標語は周囲の状況に気付き積極的に声をかけ困っている方のお手伝いをする心優しい作文や標語でした。子供たちは福祉体験学習を通して困っている人に声を掛ける、そして達成感を感じられる優しい子に育っていることに頼もしく思います。

現在、第三次君津市社会福祉活動計画を立案しています。「一人ぼっちをつくらない」明るく楽しい小糸の里をつくるべく尽力いたします。皆様の協力をお願いいたします。

今年も敬老会やミニ敬老会など多くの事業を実施致しますのでふるってご参加ください。まだまだ冷え込む日があります。お体ご自愛ください。

ミニ敬老会　「富楽里とみやま」「千倉オレンジセンター」

11月8日、お天気にも恵まれ穏やかな日差しの中、バス２台に分乗し、一路「千倉オレンジセンター」に向かいました。車中では会話を楽しみ、途中直売所の「富楽里とみやま」に寄り、生姜やピーナッツなどの買い物をしました。みかん狩りでは、甘い木をみんなで選び「この木が甘いよー」とわいわい言いながらお腹一杯食べました。お昼ご飯は、潮の香りのする食事を満喫し、のんびりとした楽しい一日を過ごしました。

交流グラウンド・ゴルフ大会

去る11月11日、中小学校グラウンドにてシニアクラブの皆さんと中・小糸両小学校児童によるグラウンド・ゴルフ大会を行いました。シニアクラブの皆さんが小学生にルールや打ち方を教えながら和気あいあいのうちに終了しました。入賞者は次の方々です。

◎高齢者の部

優　勝　　渕　　芳雄さん
（昨年も優勝）
準優勝　　益田紀美子さん
第３位　　福井　藤子さん

◎児童の部

優　勝　中小学校６年　村松咲和さん
準優勝　中小学校５年　内田佳冴さん
第３位　小糸小学校5年　齊藤まひるさん

競技終了後には小学校のＰＴＡの皆さんが作ってくれた豚汁が振る舞われました。心も体も温まる楽しい大会となりました。

児童のこえ

中小学校６年　村松（むらまつ）　咲和（さわ）

私は、３・４・５・６年生と毎年グラウンドゴルフに参加しました。始めての時は、やり方がわからなくて、どうしようと思っていたけど、おじいちゃんやおばあちゃんがやさしく教えてくれました。今年は６年生で参加できるのが最後だったけど、優勝することができてうれしかったです。グラウンドゴルフに参加して本当によかったと思っています。

中小学校５年　内田（うちだ）　佳冴（けいご）

僕は、いままでグラウンドゴルフ大会に３回参加しました。入賞したのは始めてでした。

今回は２位でした。僕と同じスコアの人がいたので、２位決定戦をしました。みんなの前でやったのでとてもきんちょうしました。なかなか勝負がつかず、３回やりました。２位になれてうれしかったです。来年は最後なので優勝したいです。

今回企画をしてくれたみなさんありがとうございました。楽しかったです。

小糸小学校５年　齊藤（さいとう）　まひる

私は、今年をふくめて３回グラウンドゴルフに参加しました。その中で、２回銅メダルをとりました。でも、今年は一度もホールインワンをとれませんでした。とてもくやしかったので、家でゴルフを練習して、うまくなりたいと思いました。

グラウンドゴルフに参加して、地域の方々との交流がたくさんできました。また来年も、参加したいと思います。

「こんにちは！お変わりありませんか？」

今年度も75歳以上の独り暮らしの方へ給食サービスを行いました。自治会長や民生児童委員、地域のボランティアの方々が訪問し配達しました。また、のべ100人以上のボランティアの方が食事作りを担当しました。ご協力ありがとうございました。

第68回“社会を明るくする運動”千葉県作文コンテスト

佳作「親切にする気持ち」

小糸小学校６年　高橋（たかはし） 来芽（らいが）

ぼくは、お姉ちゃんとお兄ちゃんと一緒に、週に一回、習字を習っています。

その日も、お母さんの自動車に乗って、習字教室に向かっていました。前には、自転車に乗っているおばあさんがいました。その道は、カーブが多く、対向車も来ていました。お母さんは、なかなか抜かすことができず、しばらくおばあさんの後ろを走っていました。

ぼくが、助手席に乗って前を見ていると、おばあさんが、急に自転車のスピードをゆるめました。ぼくは、「曲がるのかな。」と思って見ていたら、ふらついてそのまま道路に倒れてしまいました。ぼくは、びっくりしました。 すると、お母さんがすぐに自動車から降りて、おばあさんと自転車を起こしてあげていました。

対向車線の運転手さんたちは、ゆっくりと走って行きます。まるで、ぼくたちが事故を起こしたような感じで、じろじろと見ながら通り過ぎて行くので、ぼくは、とてもはずかしくなりました。おばあさんにけがはありませんでした。おばあさんの家は近くにあるそうで、自分で帰って行きました。

ぼくたちは、そのままお母さんの自動車に乗って習字教室へ向かいました。

車の中では、人がたおれたところを初めて見たことや、もしもぼくたちの車がおばあさんの前を走っていたら、たおれても気づかなくて、事故にあっていたかも知れないこと、おばあさんが無事に家へついたのか、などの話で大さわぎでした。ぼくは、とてもおどろいたけれど、おばあさんにけががなかったので、良かったなと安心できました。

ぼくが、おばあさんの立場だったら、だれも助けてくれなくて、みんなが通り過ぎてしまうと、悲しくなってしまいます。やはり、心配してくれる人がいるとうれしくなると思うので、きっと、おばあさんもうれしかったと思います。ぼくが大人だったら、お母さんと同じように、ぼくもあのおばあさんのことを起こしてあげていたと思います。うれしくなると、どうして気持ちが温かくなるのでしょう。だれかに手伝ってもらった時や勝負で相手に勝った時、人からほめてもらえた時、始業式でみんなと会える時に、ぼくはうれしくなります。

そういう時は、ほかの人にも優しくしてあげたくなり、ぼくが親切にすると相手も喜んでくれます。そうやって、うれしさの輪がどんどん広がると、みんなの笑顔が増えていきます。

では、一日二回「だれかに親切にする」という法律をつくれば、みんながうれしくなるのでしょうか。ぼくは、それではいけないと思います。やはり、一人ひとりの気持ちから出る行動でないと、本当のうれしさは感じないと思います。

だから、ぼくは自分がうれしい時だけではなく、少しだけ意識して人に優しくしていこうと思います。それが、少しずつまわりを明るくすることだと思うからです。

ぼくだけではなくて、そう思う人が少しでも増えていけば、きっと今よりも明るい社会になっていくと思います。

平成30年度福祉の標語コンクール優秀賞作品

げんきかな？　そのひとことが　うれしいな	中　小学校２年　工藤　千典
たすけ合い　小さなことでも　ありがとう	中　小学校４年　小川　翔也
町中が　独り暮らしの　応援団	中　小学校５年　堀　由朔
「てつだいます」　そのやさしさが　うれしいな	小糸小学校２年　松本　夢乃
おばあちゃん　ぼくの話で　にっこり笑顔の花がさく	小糸小学校４年　小滝　碧人
ありがとう　その一言が　宝物	小糸中学校２年　郡司　拓海
差し伸べよう　小さな手でも　大きな力	小糸中学校３年　齋藤　結鶴
思いやり　みんなにあげる　プレゼント	小糸中学校３年　田村　悠愛
あいさつで　笑顔の花が　咲きほこる	小糸中学校３年　石和田若菜

小糸地区敬老会

平成30年10月21日晴天の下、小糸地区敬老会が中小学校体育館において開催されました。昨年度は台風の影響で中止になり残念な思いでしたが、今年度は園児から高齢者まで様々なアトラクションがあり楽しい一日になりました。平成30年度卒寿を迎えられた方は、小糸地区では46名おり、当日は16名の方がお越しくださいました。今年も開催を予定しておりますのでお気軽にお出かけください。

卒寿を迎えられたみなさま

小糸小学校児童による合唱

中小学校児童による合唱

小糸保育園児によるおゆうぎ

小糸中学校生徒による糸中ソーラン

おしどり夫婦お祝い事業

二人合わせて150歳又は151歳を迎えたご夫婦に花束を贈呈しました。今年は27組のご夫婦にお届けしました。

あとがき.....桜の咲く時期が年々早まり、四季を感じる時間も短くなっているようですね。昭和が遠くなり戦争体験をされた方々も少なくなり、貴重なお話しを伺う機会も少なくなっています。平成が終わり新しい時代を迎えようとしています。戦争はありませんでしたが災害の多い時代でした。新しい時代は戦争も災害も無い希望に満ちた時代になることを願っています。　H